

神戸市環境保全審議会規則

〔平成9年7月30日〕
〔規則第28号〕

（趣旨）

第1条 この規則は、神戸市民の環境をまもる条例（平成6年3月条例第52号）第53条第4項の規定に基づき、神戸市環境保全審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織）

第2条 審議会は、40人以内の委員で組織する。

2 委員は、学識経験者その他市長が必要があると認める者のうちから市長が委嘱し、又は任命する。

3 前項に規定する委員のほか、市長は、特別の事項又は専門の事項を調査審議させるため必要があると認めるときは、当該事項を明示して臨時委員を委嘱し、又は任命することができる。

4 臨時委員は、当該事項が議題として審議されるときに限り会議に出席する。

（任期）

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 臨時委員は、当該特別の事項又は専門の事項の調査審議が終了したときは、解嘱され、又は解任されるものとする。

（会長及び副会長）

第4条 審議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、審議会に関する事務を処理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 審議会は、会長が招集し、会長が、その議長となる。

2 審議会は、委員及び議事に関係のある臨時委員の総数の過半数の者が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席者の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、環境局において処理する。

(施行細目の委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に神戸市環境保全審議会規則（昭和47年8月^市規則
教育委員会

第2号）の規定に基づき市長により委員に委嘱され、又は任命されている者は、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命された者とみなす。

3 前項の規定により委員とみなされた者の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、1年3月27日とする。

(平成22年11月25日に審議会の委員である者の任期に関する特例)

4 平成22年11月25日に審議会の委員である者の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、平成23年3月31日までとする。

附 則（平成22年11月11日神戸市規則第17号）

この規則は、公布の日から施行する。

神戸市環境保全審議会委員名簿

(敬称略、順不同)

区 分	氏 名	役 職	備 考
学識経験者 8名	丑丸 敦史	神戸大学大学院人間発達環境学研究科 教授	WEB
	大久保 規子	大阪大学大学院法学研究科 教授	
	小島 理沙	京都経済短期大学経営情報学科 教授	WEB
	島田 幸司	立命館大学経済学部 教授	WEB
	島田 洋子	京都大学大学院工学研究科 教授	WEB
	新澤 秀則	兵庫県立大学 名誉教授	欠席
	藤原 健史	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 教授	
	渡辺 信久	大阪工業大学工学部 教授	
神戸市会 5名	上 畠 寛 弘	神戸市会議員 (自由民主党)	
	高 橋 としえ	神戸市会議員 (日本維新の会)	
	萩 原 泰 三	神戸市会議員 (公明党)	
	森 田 たき子	神戸市会議員 (日本共産党)	
	木 戸 さだかず	神戸市会議員 (こうべ未来)	
市民等代表 4名	宇 高 康 弘	連合神戸地域協議会 事務局長	欠席
	堂 内 克 孝	神戸市自治会連絡協議会 会長	欠席
	高 尾 ひろ子	神戸市婦人団体協議会 理事	欠席
	大 前 晃 代	神戸市ネットモニター	
事業者代表 3名	楠 山 泰 司	神戸商工会議所 専務理事	※代理出席 産業部長 平井 克幸
	益 尾 大 祐	生活協同組合コープこうべ 執行役員	
	西 山 友 世	兵庫県環境保全管理者協会 企画委員会副委員長	WEB
関係団体 2名	久 野 洋 貴	兵庫県環境部次長	
	鈴 木 啓 太	環境省近畿地方環境事務所 環境対策課長	WEB

合計 22 名

WEB出席に係る注意事項

1. Zoom の参加者名

氏名（苗字+名前）としてください。

2. 会議中のビデオ及びマイク

ビデオはON、マイクはミュート (OFF)としてください。

3. 会議における発言方法

(1) マイクはミュートの状態で、Zoomの「手を挙げる」ボタンを押してください。

(2) 司会からの指名後に、ミュートを解除して発言してください。

(3) 発言後にマイクをミュートにしてください。

(4) 「手を降ろす」ボタンを押してください。

4. 会議中の事務局への連絡手段について

会議中の不具合など、事務局に連絡する際にはチャットをご利用ください。

5. Zoom画面の説明

※画像はパソコン画面です。



- ・マイクは基本ミュート (OFF) とし、発言時のみ ON にしてください。
- ・ビデオは常に ON にしてください。

- ・チャットはこちらから。

- ・「リアクション」のアイコンを押すと出てくる「手を挙げる」をクリックすると、画面左上に挙手アイコンが出ます。
- ・座長・司会に指名され、発言が終われば「手を降ろす」をクリックして挙手アイコンを消してください。

令和 6 年度 神戸市環境局記者提供資料（抜粋）

	表題	ページ
1	J リーグ公式戦でモバイルバッテリー回収キャンペーンを実施 ～なくそう！リチウム蓄電池の火災！～（10月25日）	1
2	【関西初】「水素で走るごみ収集車」の導入実証を行います（10月25日）	5
3	「こうべ省エネチャレンジ 2024-2025」の実施～ご家庭の温室効果ガス排出 削減を応援します！～（11月18日）	7
4	市内初！空き家を活用した エコノバ！資源回収ステーション「エコノバ そそう」がオープン！（11月21日）	10
5	「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイ クル～」プロジェクト第3期の報告（12月9日）	13
6	神戸 SDGs 表彰受賞者の決定および表彰式の開催（12月13日）	17
7	明石市と共催「生物多様性フォーラム」参加者募集のご案内 ～貴重な生態系を未来に引き継ぐために～（1月14日）	18

記者資料提供（2024年10月25日）

神戸市環境局資源循環課 井関・西田

TEL：078-595-6078（内線955-3523） E-mail:3r@office.city.kobe.lg.jp

【環境省×ヴィッセル神戸×神戸市】 Jリーグ公式戦でモバイルバッテリー回収キャンペーンを実施 ～なくそう！リチウム蓄電池の火災！～

モバイルバッテリー等に使用されているリチウム蓄電池は、ごみ収集車やごみ処理施設で圧縮・破砕されるなど、強い力がかかることで発熱・発火する可能性があります。

このたび、リチウム蓄電池を原因とした火災を防止するため、環境省・ヴィッセル神戸と連携し、11月1日（金曜）にノエビアスタジアム神戸で開催されるJリーグ公式戦「ヴィッセル神戸対ジュビロ磐田戦」において、モバイルバッテリー回収キャンペーンを実施することとなりましたので、お知らせします。

○キャンペーンの概要

日時：2024年11月1日（金曜） 16時～19時（キックオフ時間：19時）

場所：ノエビアスタジアム神戸 スタジアム場外 大階段南側

（スタジアム場外にブースを設置いたしますので、当日の入場チケットをお持ちでない方もキャンペーンに参加いただくことができます）

主催：環境省・ヴィッセル神戸・神戸市

内容：モバイルバッテリー回収（先着で350名様にオリジナルボールペンをプレゼント）

アンケート調査（抽選で3名様にレプリカユニフォームをプレゼント）

リチウム蓄電池による火災防止の普及啓発

電池類回収ボックス・小型家電リサイクルボックスの紹介

※キャンペーンの詳細は、（別紙）環境省報道発表資料をご参照ください



The poster features the logos of the Ministry of Environment, Vissel Kobe, and the City of Kobe at the top. The main title reads '環境省・神戸市 リチウム蓄電池 啓発ブース' (Ministry of Environment, City of Kobe Lithium Battery Awareness Booth). Below the title, it states: '簡単なアンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で3名さまに2024レプリカユニフォームが当たる!' (From those who answered the simple questionnaire, 3 lucky winners will receive a 2024 replica uniform!). On the left is an image of a black Vissel Kobe jersey with 'Rakuten Mobile' and 'Vissel Kobe' logos. On the right, a white box contains the text: 'ご自宅にあるご不要のモバイルバッテリーを回収!!' (Recycle unnecessary mobile batteries at home!!), 'ブースに持ってきてくれた方にオリジナルボールペンをプレゼント!' (Present original ballpens to those who brought them to the booth!), and two small notes: '※先着順' (First come, first served) and '※賞品には数に限りがございます' (Number of prizes is limited).



環境省報道発表

令和6年10月25日（金）

Ｊリーグ公式戦「ヴィッセル神戸対ジュビロ磐田戦」における モバイルバッテリー回収キャンペーンの実施について ～なくそう！リチウム蓄電池の火災！～

1. 令和6年11月1日（金）にノエビアスタジアム神戸（兵庫県神戸市）で開催されるＪリーグ公式戦「ヴィッセル神戸対ジュビロ磐田戦」におきまして、リチウム蓄電池を原因とした廃棄物処理施設等での火災防止のためのイベントを実施します。
2. 当日は、神戸市協力のもと、環境省ブースでのパネル展示やモバイルバッテリーの回収のほか、アンケート調査やユニフォーム抽選を行います。

【添付資料】

- ・ 別紙 イベント概要

<詳細は次ページ以降>

内容についての問合せ先
環境省環境再生・資源循環局
廃棄物適正処理推進課
代 表：03-3581-3351
直 通：03-5521-9273
課 長：松崎 裕司
課長補佐：高橋 亮介
係 長：千葉 康平
担 当：工藤 颯杜

■ **日時**

令和6年11月1日（金）16時00分～19時00分

■ **場所**

ノエビスタジアム神戸場外 環境省ブース
（兵庫県神戸市兵庫区御崎町1丁目2番2号 御崎公園内）

■ **実施内容**

- （1） 普及啓発パネル・写真等の展示（ノエビスタジアム神戸場外 環境省ブース）
- （2） モバイルバッテリーの回収事業（ノエビスタジアム神戸場外 環境省ブース）
- （3） アンケート調査及びユニフォーム抽選の実施

※ 各種取組の内容は別紙1を御参照ください。

以 上

イベント概要

(1) 普及啓発パネルの設置

ノエビアスタジアム神戸場外 環境省ブース内に普及啓発パネル等を設置します。
また、神戸市による、電池回収ボックス及び小型家電リサイクルボックスの見本展示も行います。



(2) モバイルバッテリーの回収事業

ノエビアスタジアム神戸場外の環境省内ブースにて、モバイルバッテリーの回収事業を実施します。回収に御協力いただいた方には、先着 350 名様に、オリジナルボールペンをプレゼントします。回収後のモバイルバッテリーは、神戸市の協力のもと適正にリサイクルを行います。



(3) アンケート調査の実施

環境省ブースに掲載されている QR コードからアンケートに回答いただくと、抽選で 3 名様にユニフォームが当たります。

記者資料提供（2024年10月25日）
神戸市環境局脱炭素推進課 青位・水野

TEL：078-595-6221 e-mail：hydrogen-cgs@office.city.kobe.lg.jp

【関西初】「水素で走るごみ収集車」の導入実証を行います

本市では、2050年のカーボンニュートラルに向けて、「水素スマートシティ神戸構想」を掲げ、水素エネルギーの利活用拡大を推進しています。

この度、燃料電池を搭載し、水素を燃料とするごみ収集車の導入実証を11月5日（火曜）より開始します。実証では、実際の収集作業を行い、車両の操作性や運用方法、課題等を抽出することで、今後の導入検討に活用します。

1. 実証の概要

- (1) 日程 2024年11月5日（火曜）から11月29日（金曜）まで
- (2) 場所 兵庫区・中央区
- (3) 実証内容
 - ・CO₂削減量、静音性等の車両導入効果
 - ・車体サイズや市内水素ステーションの配置等を鑑みた運用方法
 - ・坂や市街地等、本市特有の地理条件における操作性 など※実証中は不定期に運行します。

2. 「水素で走るごみ収集車」の概要

車両総重量	7,995kg
最大積載量	1,600kg
車両サイズ	全長 708cm・全幅 219cm・全高 256cm
水素搭載量	4.2kg

(参考) 実証車両（ごみと資源分別徹底キャラクター「ワケトン」が目印です！）



3. 実証開始に係る取材について

実証を開始する11月5日(火曜)に現地での取材を希望される方はご連絡ください。

4. 参考ページ

- ・水素の活用（水素スマートシティ神戸構想）

<https://www.city.kobe.lg.jp/a73498/shise/kekaku/kikakuchosekyoku/energy/hydrogen/20190106040301.html>

記者資料提供（令和6年11月18日）

環境局環境創造課 西巻、橋本

TEL：078-595-6214（内線：955-3711）

E-mail：eco_office@office.city.kobe.lg.jp

「こうべ省エネチャレンジ 2024-2025」の実施 ～ご家庭の温室効果ガス排出削減を応援します！～

神戸市では、地球温暖化対策は喫緊の課題であることから「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す」ことを宣言しています。その取り組みの一環として、ご家庭で排出する温室効果ガスの削減にご協力をいただくため、「こうべ省エネチャレンジ 2024-2025」を実施します。

今年は昨年に引き続き、「電気・ガス使用量」の削減・報告または「1年間のカーボンフットプリント（1年間の生活で排出する温室効果ガスの量）」を報告いただき、ご応募いただいた方の中から抽選で、記念品をプレゼントします。無理のない範囲で取り組み、本キャンペーンには是非ご参加ください。

1. 対象者

神戸市内に居住しているご家庭

2. 応募期間

2024年12月16日（月曜）～2025年2月28日（金曜）（消印有効）

3. 応募方法

○ 電気・ガス使用量の削減・報告

2024年11月15日（金曜）～2025年2月28日（金曜）のうち、1か月以上、節電・省エネに取り組み、必要書類を添えて応募してください。

○ 1年間のカーボンフットプリントの報告

1年間のカーボンフットプリントが算出できるアプリ「じぶんごとプラネット^{※1}」にアクセス・設問に回答し（ダウンロード不要）、必要書類に記載している画面のスクリーンショット画像を添えて応募してください。

【じぶんごとプラネットのページ】<https://www.jibungoto-planet.jp/>

※1 「じぶんごとプラネット」は、住居・食・移動・消費財の4項目に関する設問に答えると、それぞれの項目について個人が排出している温室効果ガスを二酸化炭素として算出するアプリです。国立環境研究所と一般財団法人 Code for Japan がアプリの基礎となるプラットフォームを共同開発し、フットプリント可視化の計算アルゴリズムはオープンソースソフトウェアとして無料公開されています。

（1）必要書類

○ 電気・ガス使用量の削減・報告

- ① 応募用紙（アプリで応募する場合は不要）
- ② 電気・ガスの1か月間の使用量が分かる資料（電気・ガスの検針票等）

③ ②の前年同月の電気・ガス使用量が分かる資料（電気・ガスの検針票等）※²

※² ③が無い場合でも応募は可能です。

○ 1年間のカーボンフットプリントの報告

① 応募用紙（アプリで応募する場合は不要）

② 「あなたの1年間のカーボンフットプリント量」のスクリーンショット画像

③ 「あなたの脱炭素アクション」のスクリーンショット画像※³

※³ ③が無い場合も応募は可能です。

(2) 応募方法・提出先

次のいずれかの方法でご応募ください。

- ・ KOBE エコアクション応援アプリ「イイことぐるぐる」
- ・ Eメール：eco_office@office.city.kobe.lg.jp
- ・ 郵送：〒651-0086 神戸市中央区磯上通7-1-5 三宮プラザ EAST 3階
神戸市環境局脱炭素推進課 こうべ省エネチャレンジ担当
- ・ FAX：078-595-6252

- アプリから応募すると、当選確率が2倍となり、もれなく50イイぐるポイントをプレゼントします。

4. プレゼント・抽選方法

(1) プレゼント一覧

<p>王子動物園 ペア入園券</p>  <p>神戸市立王子動物園</p>	<p>コーナン商品券</p> 	<p>市内J Aで使える金券</p> 	<p>神戸サウナ&スパ 神戸レディススパ ペア入浴無料券</p> 
<p>バンドー神戸青少年 科学館 ペア招待券</p> 	<p>万葉倶楽部 神戸ハーバーランド温泉 特別ご優待券</p> 	<p>5,000イイぐるポイント (500円相当)</p> 	<p>家庭用指定ごみ袋 ・3種セット ・燃えるごみ 10枚</p> 

(2) 抽選方法※⁴

- ・ 次の①～③の順に記念品1（家庭用指定ごみ袋以外の記念品）の抽選※⁵を行い、いずれか一点をプレゼントします。
- ・ 記念品1の抽選に外れた方及び抽選対象外となった方の中から抽選で、記念品2（家庭用指定ごみ袋）をプレゼントします。

- ① 電気・ガス使用量を昨年より削減できた方
(今年度及び前年同月の電気・ガス使用量を報告した方に限ります。)
- ② 1年間のカーボンフットプリントの報告を報告した方
(「あなたの脱炭素アクション」を報告した方に限ります。)

- ③ 1年間のカーボンフットプリントの報告を報告した方（②を除く）
- ③ 電気・ガス使用量を報告した方（①を除く）

※4 重複当選はありません。また、応募内容に不備があるときは、全ての抽選の対象外となる場合があります。

※5 ①②③の抽選の時点で記念品がなくなった場合は、④の抽選は行わず、記念品2を抽選でプレゼントします（①又は①②の抽選で記念品がなくなった場合も同様）。

5. 協賛企業・施設

王子動物園、コーナン商事株式会社、JA 兵庫六甲、株式会社ジェム、
バンドー神戸青少年科学館、万葉倶楽部株式会社（五十音順）

6. こうべ省エネチャレンジのページ

<https://www.city.kobe.lg.jp/a73498/ondanka/syoenechallenge2024-2025.html>

7. 参考：KOBЕ エコアクション応援アプリ「イイことぐるぐる」

「イイことぐるぐる」は、宅配便ロッカーの使用や生きものマップへの投稿など、環境にやさしい様々な行動（エコアクション）を実践し、報告することでポイントがたまる神戸市環境局の公式スマートフォンアプリです。



取得した「イイぐるポイント」は、PiTaPa など 120 種類以上の各種電子ポイントに変換できる共通電子ポイント「Gポイント」と交換^{※6}することができます。

※6 10 イイぐるポイントで、1Gポイント（1円相当）と交換できます。詳しくは、市ホームページを参照してください。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a36643/kurashi/recycle/heat/iiguru-app.html>

市内初！空き家を活用したエコノバ！ 資源回収ステーション「エコノバそそう」がオープン！

神戸市は、プラスチックのリサイクルと、地域交流の場づくりを目的として、エコノバ（資源回収ステーション）の開設を進めています。

この度、「建築家との協働による空き家活用促進事業」で再生された空き家を活用した初のエコノバとなる、「エコノバそそう」が11月23日にオープンします。（エコノバとして35か所目の拠点です。）

エコノバは、市民の皆さんが身近な場所で気軽に立ち寄れるようにするため、小学校区に1から2か所の設置を目標としています。今後も市内に順次拡大していきます。



1. 「エコノバそそう」について

開設日：2024年11月23日（土曜）

開設場所：麴相 sosou.（兵庫区湊山町25-5）

開設時間：毎日9時00分～21時00分

回収品目：トレイ（白、色つき）、透明容器、ペットボトル、つめかえパック、プチプチ®、ペットボトルキャップ、歯ブラシ、びん（無色、茶色、その他）

※ 資源回収ボックスは、店舗併設部分（屋外）に設置しています。

※ 交流スペースは、店舗内（屋内）にあります。（営業時間内のみ利用可能）

※ 資源出しをして、店舗独自のスタンプカードにポイントをためると、オリジナル商品と交換できるサービスがあります。

2. 「麴相 sosou.」（空き家を活用した店舗）について

- ・ 営業時間：木曜・金曜・土曜・日曜 12時00分～21時00分

※時間短縮営業の場合あり

- ・ 木造2階建て（築52年）の空き家を改修し、店舗として利用
- ・ 「まだ使えるが不要になったもの」を収集し、譲渡・販売を行うリユース&リメイクの拠点（日頃は革製品の製作・販売と喫茶を営む）。ものを大切にし、環境問題について考える場となっています。また、地域に開かれた交流スペースにもなっています。

3. エコノバ（資源回収ステーション）とは

プラスチックを資源として回収し、「まわり続けるリサイクル」を実践するとともに、誰もが関わるごみ出しをきっかけに地域交流が生まれるコミュニティ拠点です。

【特徴】

- ・回収品目ごとに「何にリサイクルされるのか」「どのように分別すればよいか」を“見える化”
- ・資源循環への市民の意識を高め、高品質なプラスチックごみ（資源）を回収し、開館時間ならいつでも持込可能
- ・資源の持ち込みついでに、友人や知り合いとおしゃべりを楽しむことができる交流スペースも設置

4. 既設のエコノバ（資源回収ステーション）一覧

以下のホームページにおいて、各拠点のエコノバを紹介しています。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a25748/kurashi/recycle/recovery-of-plastic-resources.html>



エコノバ

そそう
資源回収ステーション

2024 (令和6年)

11/23祝 OPEN

※「エコノバ」は資源回収ステーションの愛称です。

家庭から出た資源が生まれ変わるよ! ぜひ持って来てね!

回収品目	白トレ 白トレは再び白トレに	色トレ 色トレはハンガーなどに	透明容器 透明容器は再び透明容器に	ペットボトル ペットボトルは再びペットボトルに	ペットボトルキャップ ペットボトルキャップはプラスチック製日用品に
	つめかえパック つめかえパックは新しいつめかえパックへのリサイクルに挑戦中	プチプチ® プチプチ®は再びプチプチ®に	歯ブラシ 歯ブラシはプラスチック製日用品に	無色のびん 無色のびんはほとんどが無色のびんに	茶色のびん 茶色のびんはほとんどが茶色のびんに

利用方法

家庭で資源を水洗いして乾かします!
 指定ごみ袋に入れずに資源回収ステーションへ!
 開設時間内にそれぞれの回収ボックスに入れてください!

資源を出した後は「地域交流スペース」をご利用ください!
 ※地域交流スペースは店舗内(屋内)にあります。(営業時間内のみ利用可能)

[そそう資源回収ステーションの場所・回収時間]

鹿相 sosou.

神戸市兵庫区湊山町25-5

毎日 9:00-21:00

- ※資源回収ボックスは店舗併設部分(屋外)に設置しています。
- ※店舗「鹿相 sosou.」の営業時間
木曜・金曜・土曜・日曜 12:00~21:00 (時間短縮営業の場合あり)
- ※これまで通り、クリーンステーションでの「缶・びん・ペットボトル」「容器包装プラスチック」の分別回収も継続しています。
- ※家庭からの資源のみ回収します。事業者(店舗等)の方はご遠慮ください。

- ◎店舗独自のスタンプカードにポイントをためると、オリジナル商品と交換できるサービスがあります!
- ◎LINEアプリのお楽しみ機能があります!



「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパック リサイクル～」プロジェクト第3期の報告

本市では、利用目的を明確に定めた上でリサイクルに適したプラスチック品目を品目別に集めることで、より効率的かつ高品質なリサイクルを進める「まわり続けるリサイクル」の取り組みを進めています。

この度、本市と小売・日用品メーカー・リサイクラーでつくる「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」プロジェクト第3期（2023年10月から2024年9月末まで）期間中に1.93トン、3年間で累積約5トンの使用済みつめかえパックを回収しましたので、活動実績と併せてご報告します。

1. 第3期（2023年10月から2024年9月末まで）の活動実績

活動3期目で回収した使用済みつめかえパックは重量1.93トンであり、前年比から約1.2倍に増加しました。

また、フィルム to フィルムの技術を活用し、回収したつめかえパックの一部から、傘や回収ボックスを制作、イベントでの啓発活動を行いました。

＜主な活動実績＞

- ・ 「六甲アイランドハロウィンフェスティバル2023」、「神戸プラスチックネクスト in コープこうべ」等、環境イベントでの啓発活動を実施。
- ・ 神戸市内で回収した使用済みつめかえパックから、「リサイクル傘」「回収ボックス」を制作。「リサイクル傘」は、2024年12月10日（火曜）より神戸市内の「アイカサ」スポットで運用予定。

2. 今後の展開

市民の皆様のご協力で、回収量は年々増加しており、3年間で累計約5トンの使用済みつめかえパックを回収することができました。しかし、水平リサイクル品が当たり前店頭並んでいくためには、安定的に回収できる仕組みづくりが必要です。そのためにも、更に回収量を増やすべく、引き続き、市民の皆様への参加協力を呼び掛けていきます。

【参考】「KOBE PLASTIC NEXT」ホームページ

<https://kobeplasticnext.jp/next/tsumekaepackrecycle/>

報道関係各位

2024年12月9日

神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル プロジェクトチーム

**神戸市・小売・日用品メーカー・リサイクラーが協働で、「水平リサイクル」を目指す
「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」
3年間で約5トンの「使用済みつめかえパック」を回収**

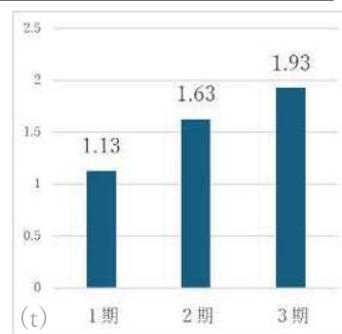
神戸市と小売・日用品メーカー・リサイクラーでつくる神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル プロジェクトチームは、神戸市内の小売店舗に回収ボックスを設置して日用品のつめかえパックを分別回収する「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」を実施しています。

この度、第3期（2023年10月から2024年9月末まで）で1.93トン、3年間で累積5トンのつめかえパックを回収いたしましたので、活動実績と併せてご報告します。

■第3期のつめかえパック回収量は約1.93トン。つめかえパックを傘・回収ボックスにリサイクル。

2021年10月からスタートした本プロジェクトは、神戸市と17社・団体が循環型社会の実現に向けて協働し、日用品の使用済みつめかえパックを分別回収して再びつめかえパックに戻す「水平リサイクル」（フィルム to フィルム）を目指しています。自治体と製造・販売・回収・再生に関わる複数の企業等が“競合”の垣根を超えて“協働”で「水平リサイクル」を目指す全国に先駆けた試みで、神戸市内の小売76店舗と施設19カ所に回収ボックスを設置しています。

3期で回収したつめかえパックは重量1.93トンで、前年比から約1.2倍となりました。またフィルム to フィルムの技術を活用し、回収したつめかえパックの一部から、傘や回収ボックス制作、店頭イベントや環境イベントでの啓発活動を行いました。



■3年間で約5トン回収。水平リサイクル実現には、つめかえパックの安定供給と選別コスト低減が課題。

3年間で累計約5トンを回収し、回収量は年々増加しています。しかし水平リサイクル品が当たり前店頭と並んでいくためには、使用済みつめかえパックが安定的に回収できる状態を作ることが必要です。そのために、5トン／年をマイルストーンに置きながら回収量が集まる仕組み作りを進め、市民の皆様への参加協力も呼び掛けていきます。

《認知や参加を拡大する仕組みづくり》

既存店頭回収（ペットボトルなど）に追加する形で、つめかえパック回収が市民に受容されていることが実証されてきました。しかしペットボトルや食品トレーなどに比べ、まだまだ認知が低いことが示唆されており、認知・参加を促していく仕組み作りとその検証を行い、5トン／年回収ペースの安定供給の実現を目指します。

《店頭回収・収集運搬・選別の仕組みづくり》

店頭回収・収集運搬・選別の基本モデルが構築できました。一方で回収物の選別の効率化やコストが大きく負荷の低減が課題です。3期では家庭内での分別をアシストする選別システムの開発・テストを進めており、資源循環型社会にむけ、将来必要になる要素技術を神戸市から発信するべく継続して取り組んでゆきます。

《再生品の需要を高めていく》

参加社が競合関係や異業界の壁を越えて、水平リサイクルに関する技術や課題を共有・議論し理解を深めていきましたが、今後は、つめかえパック由来の再生樹脂を活用したリサイクル品の需要を高めていく必要があります。水平リサイクルに対する市民の関心等を把握していきます。

【報道関係のお問い合わせ先】

神戸市環境局 井関・川上 TEL: 078-595-6091 (内線 955-3531)
 神戸プラスチックネクスト つめかえパックリサイクル広報事務局 (プランニング・ポート内) 福嶋・井上 TEL: 06-4391-7156
 KOBE PLASTIC NEXT ホームページ <https://kobeplasticnext.jp/>

第3期の主な活動実績（2023年10月～2024年9月）

1) 神戸市内での店頭イベントの開催へ、各種環境イベントでの啓発活動

生活者の分別回収の理解を深めて、年間5トンペースのつめかえパックが集まる仕組みづくりのため、PRイベントやブース出展など、認知拡大、参加促進活動を行いました。

- ・六甲アイランドハロウィンフェスティバル 2023（2023年10月28日（土）29日（日）/神戸ファッションプラザ）
- ・こうべ環境博覧会「かんぱく」（2023年10月29日（日）/兵庫津ミュージアム）
- ・神戸プラスチックネクスト in コープこうべ（2024年2月17日（土）/コアキタマチショッピングセンター）
- ・「楽しんで学ぼう SDGs in KOBE」（2024年3月26日（日）/ふたば学舎）
- ・つめかえパックリサイクルキャンペーン（2024年5月26日（日）/マックスバリュ星陵台店）

2) 神戸市内で回収したつめかえパックから「リサイクル傘」「回収ボックス」が完成。

参加メーカー各社が連携し「水平リサイクル」に向けた検討や意見交換を重ねていますが、フィルム to フィルムの技術を活用して、回収したつめかえパックの一部から「水平リサイクル」以外の利活用も検討し、集まったつめかえパックを選別・粉碎・ペレット化、フィルムに再生、「リサイクル傘」「回収ボックス」を制作しました。

・「リサイクル傘」（傘シェアリングサービス「アイカサ」で運用）

神戸で回収したつめかえパックから再生樹脂を50%使用したフィルムに再生、傘の生地を制作しました。生地のデザインでは、リサイクルしたつめかえパックが傘になり人に戻ってくることを、ボタンをつないで傘を一周することで表現しました。

完成した300本の傘は、2024年12月10日より順次、神戸市内・約20カ所の「アイカサ」スポットで運用予定です。

・「回収ボックス」

回収ボックス1台あたり約3.7kgのうち10%に、つめかえパック由来の再生樹脂を利用し100台製造。2024年12月より、参加小売店舗で順次設置していきます。



※この取組は、アマタホールディングス(株)が2023年8月に採択された内閣府の第3期戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の支援のもと実施しました。

3) 家庭内での分別をアシストする選別システムを開発

現在、リサイクルしやすいつめかえパックを目指して様々な包装開発が各方面で進められています。しかしながら、こうしたつめかえパックでもその技術を採用したつめかえパックだけを分けて集める必要があります。

そこで、こうした分別を家庭でも手軽に行えるよう、スマートフォンを活用して、つめかえパックに印刷されたバーコードを読み取ることで、排出方法をアドバイスする選別システムを開発しています。今後、神戸市内で行ういくつかのイベントで体験会を行い、運用の可能性を確認して参ります。また、将来的にはバーコードと排出・再生方法を記述したリサイクル統合データベースを整備し、大規模ソーティングにも活用できることを目指しています。



「神戸プラスチックネクスト～みんなでつなげよう。つめかえパックリサイクル～」概要 ※2024年12月現在

神戸市・小売・日用品メーカー・リサイクラーが協働し、日用品のつめかえパック（フィルム容器）を回収・リサイクルして再びつめかえパックに戻す「水平リサイクル」（フィルム to フィルム）に挑戦するプロジェクトです。2021年10月より、神戸市内の小売店舗に回収ボックスを設置し、洗剤やシャンプーなど使用済みの日用品のつめかえパックの分別回収をスタートしました。

自治体と製造・販売・回収・再生に関わる複数の企業等が“競合”の垣根を超えて“協働”でつめかえパックの「水平リサイクル」を目指す全国に先駆けた試みとして、意志を同じくする参画メンバーが協働し、市民の皆様へ呼びかけを行い、神戸から全国へ広がる活動とすべく取り組みを推進しています。

- 回収開始 2021年10月1日（金）
- 回収場所 神戸市内の小売店舗と資源回収ステーション施設に設置された回収ボックス
※店舗詳細は HP に掲載 <https://kobeplasticnext.jp/next/tsumekaepackrecycle/>

■参画メンバー（五十音順）

- 【プロジェクト主体】 神戸市
- 【小売】 4社 ウエルシア薬局株式会社、生活協同組合コープこうべ、株式会社光洋、株式会社ダイエー
- 【メーカー】 10社 アース製薬株式会社、花王株式会社、牛乳石鹼共進社株式会社、クラシエホールディングス株式会社、株式会社コーセー、小林製薬株式会社、サラヤ株式会社、株式会社ミルボン、ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社、ライオン株式会社
- 【リサイクラー】 1社 大栄環境株式会社
- 【アドバイザー】 アミタホールディングス株式会社
- 【事務局】 NPO 法人ごみじやぱん
- 【協力・連携】 クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）

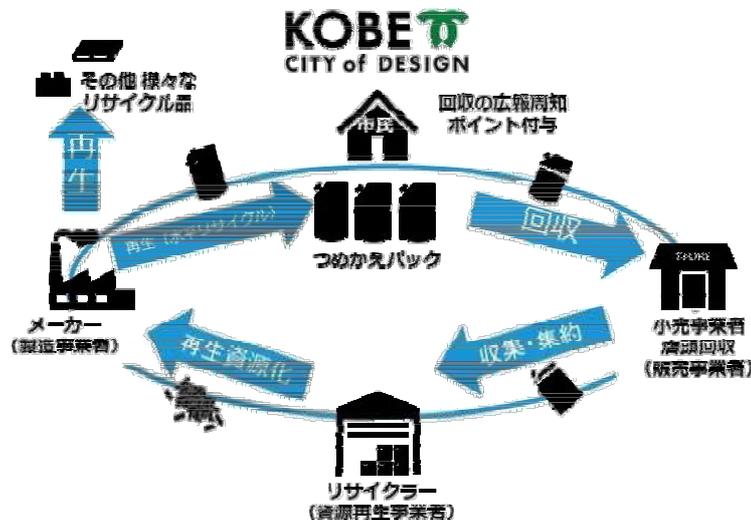
■取り組みのポイント

<つめかえパックの回収> ～持続可能な回収スキームの構築～

- ① 小売4社の神戸市内の店舗と資源回収ステーション施設で回収。（全国最大規模）
目標は初年度5トン/年。（将来目標10トン/年）。
- ② 店舗への配送戻り便等を活用して集約し、収集の効率化、環境負荷を低減。

<つめかえパックのリサイクル> ～新しい循環経済のビジネスモデルを構築～

- ③ 日用品メーカー10社が、リサイクル試験を通じて課題や技術を共有し、「水平リサイクル」を目指す。
また、よりリサイクルしやすい、つめかえパックの素材や形状等を議論。
- ④ 水平リサイクルしたつめかえパックを製品として、市内店舗での実証販売を目指す。
- ⑤ アイデアを出し合い、市民の皆様に還元する様々なリサイクル製品も検討。



記者資料提供（2024年12月13日）
神戸市環境局環境企画課 柴田・後藤

TEL：078-595-6093（内線955-4000） FAX：078-595-6240

神戸 SDGs 表彰受賞者の決定および表彰式の開催

神戸市では自然共生の取り組み、脱炭素の取り組み、資源循環の取り組みなど SDGs の達成に資する優れた取り組みを行っている団体・個人を表彰しています。このたび 2024 年度の神戸 SDGs 表彰各賞受賞者を決定し、表彰式を開催しますのでお知らせいたします。

1. 受賞者

賞	団体	活動概要
大賞	兵庫運河の自然を再生するプロジェクト	豊かな里海をめざし、兵庫運河の自然を再生する取組を行い環境保全・地域活性を推進した。
奨励賞	SHARE WOODS.	六甲山や街路樹の伐採木に多様な価値を与え、神戸市産木材の循環利用の道を切り開いた。
功労賞	特定非営利活動法人 PV ネット兵庫グローバルサービス	市民レベルでの脱炭素地域づくり、そのエリアにおいて里山整備による資源活用、環境教育などを行い地域活性に貢献した。
	社会福祉法人木の芽福祉会 御影倶楽部	酒パックの工場損紙を使った再生紙製造を、障害者の福祉的就労先として確立し、環境と福祉をかけあわせた事業を実現した。

2. 表彰式

① 開催日時

2024年12月20（金曜） 14時00分から14時40分

② 開催場所

神戸市役所1号館14階 大会議室（神戸市中央区加納町6丁目5-1）

③ 出席者（予定）

受賞者4団体

市長、神戸 SDGs 表彰委員ほか

3. 表彰委員

委員長	石川 雅紀	叡啓大学特任教授・神戸大学名誉教授
委員	飯塚 優子	住友林業株式会社執行役員サステナビリティ推進部長
委員	小林 正明	公益社団法人環境生活文化機構会長
委員	千葉 知世	大阪公立大学准教授
委員	柏木 和馬	神戸市環境局長

記者提供資料（2025年1月14日）

環境局自然環境課 岡田、岸本

TEL：078-595-6216 FAX：078-595-6254

E-mail: biodiversity@city.kobe.lg.jp

明石市と共催「生物多様性フォーラム」参加者募集のご案内 ～貴重な生態系を未来に引き継ぐために～

神戸市と明石市には、河川や里地・里山や里海といった生物多様性豊かな自然が市街地の近くにありま。今回のフォーラムでは、豊かな生態系を形成している「ため池」や「田んぼ」を次世代に引き継ぐための取り組みを考えます。

フォーラムでは、実際に活動を行う若者の活動紹介や参加者を巻き込んだトークセッションもあります。あなたも、明石市・神戸市にある貴重な生態系の未来について一緒に考えてみませんか？

※2023年9月1日に「神戸市と明石市の生物多様性を守り育てるための連携・協力に関する協定」を両市で締結しています。

この協定に基づくイベントとして本フォーラムを共催しますので、ぜひご参加ください。

1. 開催概要

- (1) 名 称：神戸と明石の生物多様性フォーラム「ネイチャーポジティブの実現に向けて～ため池や田んぼの生態系を次世代につなぐために～」
- (2) 日 時：2025年2月9日（日曜）13時30分～15時30分
- (3) 会 場：子午線ホール（明石市東仲ノ町6-1 アスパア明石北館9階）
- (4) 参加費：無料
- (5) 定 員：先着200名

2. プログラム・登壇者

○司会：菅山 明美 氏（明石市共創アドバイザー）

【第1部】 基調講演

「ため池が支える生物多様性」 神戸大学名誉教授 角野 康郎 氏

【第2部】 活動紹介

「身近な自然に触れる環境体験学習」

一般社団法人のはらくらぶ学生リーダー 一宮 小葉 氏

「明石市のため池における環境教育と探究活動」

兵庫県立明石北高等学校 科学探究部生物班

「ため池の環境DNA分析とセトウチサンショウウオの保全」

神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 岡本 理央 氏
【第3部】 トークセッション～みんなで対話しよう！
「ため池や田んぼの豊かな生態系を次世代に引き継ぐために」
※司会者による登壇者紹介の後、丸谷市長による進行
菅山氏がグラフィックレコーディングを実施

コーディネーター 丸谷 聡子 明石市長
パネリスト ・久元 喜造 神戸市長
・神戸大学名誉教授 角野 康郎 氏
・（一社）のはらくらぶ学生リーダー 一宮 小葉 氏
・兵庫県立明石北高等学校教諭 植田 好人 氏
・神戸大学大学院人間発達環境学研究科 岡本 理央 氏

3. 参加申し込み方法

下記のウェブサイトまたは電話・FAX（代表者の氏名、年代※1、お住まいの市町村※2、代表者の電話番号を記入）で明石市環境創造課までお申し込みください。

※1 記載例 55歳であれば「50代」

※2 記載例 明石市にお住まいであれば「明石市」

受付期間：1月15日（水曜）～2月6日（木曜）17時まで

- ・ウェブサイトからの申し込み
明石市イベント申込サイトよりアクセス
<https://logoform.jp/form/eHmi/830919>



4. その他

募集や応募方法等の詳細については、1月15日以降に明石市ホームページから確認できます。

https://www.city.akashi.lg.jp/kankyou/kankyou_souzou_ka/seibutsutayoseifuoramu20250209.html



5. 問い合わせ先

明石市環境産業局環境室環境創造課
〒673-8686 明石市中崎 1-5-1
TEL 078-918-5786 FAX 078-918-5192
E-mail plan-ems@city.akashi.lg.jp

記 者 提 供 資 料
2025 年(令和 7 年) 1 月 14 日
環境産業局環境室環境創造課 担当 植田、本多
(直通)078-918-5786 (内線)2591

明石市・神戸市が共催「生物多様性フォーラム」 ～貴重な生態系を未来に引き継ぐために～

神戸市と明石市には、河川や里地・里山や里海といった生物多様性豊かな自然が市街地の近くに 있습니다。今回のフォーラムでは、豊かな生態系を形成している「ため池」や「田んぼ」を次世代に引き継ぐための取り組みを考えます。

フォーラムでは、実際に活動を行う若者の活動紹介や参加者を巻き込んだトークセッションもあります。あなたも、明石市・神戸市にある貴重な生態系の未来について一緒に考えてみませんか？

※2023 年 9 月 1 日に「神戸市と明石市の生物多様性を守り育てるための連携・協力に関する協定」を両市で締結しています。

1 開催概要

- (1) 名 称：生物多様性フォーラム「ネイチャーポジティブの実現に向けて
～ため池や田んぼの生態系を次世代につなぐために～」
- (2) 日 時：2025 年 2 月 9 日（日曜）13 時 30 分から 15 時 30 分
- (3) 会 場：子午線ホール（明石市東仲ノ町 6- 1 アスパア明石北館 9 階）
- (4) 参加費：無料
- (5) 定 員：先着 200 人

2 プログラム・登壇者

○司会：菅山 明美 氏（明石市共創アドバイザー）

【第 1 部】 基調講演

「ため池が支える生物多様性」 神戸大学名誉教授 角野 康郎 氏

【第 2 部】 活動紹介

「身近な自然に触れる環境体験学習」

一般社団法人のはらくらぶ学生リーダー 一宮 小葉 氏

「明石市のため池における環境教育と探究活動」

兵庫県立明石北高等学校 科学探究部生物班

「ため池の環境 DNA 分析と セトウチサンショウウオの保全」
神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 岡本 理央 氏

【第3部】 トークセッション～みんなで対話しよう！

「ため池や田んぼの豊かな生態系を次世代に引き継ぐために」
※司会による登壇者紹介の後、丸谷市長による進行
菅山氏がグラフィックレコーディングを実施

コーディネーター 丸谷 聡子 明石市長

パネリスト・久元 喜造 神戸市長

- ・神戸大学名誉教授 角野 康郎 氏
- ・一般社団法人のはらくらぶ学生リーダー 一宮 小葉 氏
- ・兵庫県立明石北高等学校教諭 植田 好人 氏
- ・神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 岡本 理央 氏

3 参加お申し込み方法

下記のウェブサイトまたは電話・FAX（参加者全員の氏名、年代※1、お住まい市町村※2、代表者の電話番号を記入）で明石市環境創造課までお申し込みください。

※1 記載例：55 才であれば「50 代」

※2 記載例：明石市にお住まいであれば「明石市」

受付期間：1月15日(水曜)～2月6日(木曜)17時

- ・ウェブサイトからの申し込み
明石市イベント申込サイトよりアクセス
<https://logoform.jp/form/eHmi/830919>



4 その他

募集や応募方法等の詳細については、1月15日以降に明石市ホームページから確認
できます。

https://www.city.akashi.lg.jp/kankyoku/kankyoku_souzou_ka/seibutsutayoseifuoramu20250209.html



5 問い合わせ先

明石市環境産業局環境室環境創造課

〒673-8686 明石市中崎 1- 5- 1

TEL 078-918-5786 FAX 078-918-5192

E-mail plan-ems@city.akashi.lg.jp

神戸と明石の



参加費 無料

要事前申し込み

生物多様性フォーラム

ネイチャーポジティブの実現に向けて
- ため池や田んぼの生態系を次世代につなぐために -

2025.2.9日

13:30~15:30

(13時開場)

ため池や田んぼは、豊かな生態系を形成しています。しかし、農業者の高齢化や担い手不足により管理されず放置されたり、また、宅地などへの改変が進み、貴重な自然が失われつつあります。

ため池や田んぼが持つ多面的機能を知り、この豊かな生態系を次世代に引き継ぐための取組について、みんなで一緒に考えてみませんか。

会場

子午線ホール

明石市東仲ノ町6-1
(アスピア明石北館9階)



申し込み方法 2月6日17時締め切り

右記の専用フォームが電話・FAX(下記)へ
参加者全員の氏名、年代、お住まいの市町名、
代表者の電話番号を記入



定員

200人
(先着順)

お問い合わせ

明石市 環境創造課

TEL 078-918-5786

FAX 078-918-5192



プログラム

〈第1部〉基調講演 **ため池が支える生物多様性**
角野 康郎氏 神戸大学名誉教授

〈第2部〉活動紹介

- 身近な自然に触れる環境体験学習
(一社)のはらくらぶ学生リーダー 一宮 小葉氏
- 明石市のため池における環境教育と探究活動
兵庫県立明石北高等学校 科学探究部生物班
- ため池の環境DNA分析と
セトウチサンショウウオの保全
神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 岡本 理央氏

〈第3部〉トークセッション〜みんなで対話しよう!

「ため池や田んぼの豊かな生態系を
次世代に引き継ぐために」

登壇者

コーディネーター



ひさもと きやう
久元 喜造
神戸市長



まるたに さとこ
丸谷 聡子
明石市長



かどの やすろう
角野 康郎
神戸大学名誉教授

いちみや さおり
一宮 小葉

(一社)
のはらくらぶ

うえだ よしと
植田 好人

兵庫県立明石北
高等学校教諭

おかもと りお
岡本 理央

神戸大学大学院
大学院生

「神戸市と明石市の生物多様性を守り育てるための連携・協力に関する協定」に基づく事業です。



KOBE 明石市

協力:いなみ野ため池ミュージアム運営協議会

